

いまみ 緑のたより



ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/imajukuminami>

元気 協力 安全！ 第41回 イマミ大運動会

校長 江野澤 勝

低学年玉入れ、夢中になって投げていました。

躍動感のある中学年、高学年演技は皆、息をのんで見ていました

運動会を終えて

10月22日土曜日、好天に恵まれ、第41回イマミ大運動会を無事に終わることができました。保護者の皆様方におかれましては、早朝より会場準備や受付等にお力を貸してくださったり、子どもたちに温かい声援を送ってくださったり、誠にありがとうございました。

今年度の運動会もコロナ禍での開催ではありましたが、市内、区内の学校では、参観者の入れ替え制や各家庭1名の参観などの対応となるところもありましたが、本校では児童数を考慮し、2名の参観とさせていただきました。市のガイドラインをもとに感染状況を見ながら、徒競走、演技に加えて、低学年から高学年の団体競技も取り入れての実施となりました。子どもたちにとっても、心に残る一日になってくれたかと思います。

私は本部席にいる時間が長いのですが、演技や競技の途中で、応援席の方にも様子を見に行きました。そこでは、上級生と一緒に、夢中になって競技を応援する姿がありました。下級生に優しく声をかけている姿もあり、今宿南のよさを実感する瞬間でもありました。また、低学年の子に声をかけると、「あのね、あそこで座って下向てる人お母さんだよ。」「お兄ちゃんあそこにいるよ。」と教えてくれる子もいました。50m以上も離れているのに、なんと目をしているんだと感心しました。子どもたちは自分たちの頑張りを見守って、応援してもらっていることに大きな喜びを感じていました。

前日には「明日、すごく楽しみ！！」とわざわざ声をかけてくれたり、準備をしている高学年の児童を眺めながら応援の真似をしたり、放送の準備で演技の曲が流れると、友達と一緒に楽しそうに踊ったりする姿もありました。私たち大人が思っている以上に、子どもたちはこの運動会を心待ちにしてくれていたのでしょう。当日に向け、皆、一生懸命よく頑張っていました。途中で悩み、壁にぶつかったこともあったかもしれませんが、それらも含めてこれまでの取組の積み重ねが、一つ一つ皆の喜びや自信になり、次の意欲に繋がっていくことを願うばかりです。

これから秋本番、今宿南小学校の学校生活がより充実したものになるよう、子どもたちと共に努めてまいります。今後ともご理解とご協力のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

第41回 イマミ大運動会

1年生

小学校初めての運動会。子どもたちはとても楽しみにしていました。徒競走では力いっぱい走り、玉入れは競技も応援も頑張りました。「イマミにサチアレ」では、腕をよく伸ばし、体いっぱい使って演技をしました。たくさんの人に見守られ、楽しい一日を過ごすことができました。

たまいれでは、たくさんはいつてうれしかったです。おうえんもがんばりました。

ウェーブがじょうずにできました。らいぬんもうんどうかみかたのしみです。

2年生

2度目の運動会は、練習から1年生の手本になれるように頑張りました。演技や競技中はもちろん、待っている間の姿勢もかっこよくできました。同じ色の仲間を一生懸命応援し、みんなで1つになった運動会となりました。

ダンスをえ顔で、おどりました！
なので、これからも、え顔を大切にしたいです。

うんどうかみのダンスで、みんなといきをあわせておどろうとおもいました。とてもたのしくて、あんぜんでたのしいうんどうかみになったとおもいます。

3年生

初めての「イマミよさこいソーラン」の練習では、4年生とペアを作ってアドバイスをもらいながら頑張りました。初めのうちはリズムについていくだけで大変でしたが、練習を重ねるうちに体が自然に曲に合わせて動くようになってきました。大玉送りでも、4年生のペアと協力して声をかけ合いながら大玉を運びました。徒競走や応援も、一人ひとりが一生懸命取り組みました。

イマミよさこいソーランは、初めてなのできんちょうしました。でも、4年生に細かき動きまで教えてもらったり、たくさん練習をしたりして自信をもって、キレのあるよさこいことができました。来年は、4年生として3年生をリードしていけるようにしたいです。

～思い出にのこる運動会にしよう！～

4年生

2年目のよさこいソーランでは、今年は自分たちが3年生をリードしたいという思いをもつとともに、昨年度よりもさらにキレのある、カッコいい演技を目指して練習を重ねました。気付いたことはお互いに伝え合い、全体としての完成度を高める姿も見られました。4年生としての態度と演技は立派なものでした。

本番を終え、「めあてどおり、キレのあるよさこいできた。」「3年生に分からないところはない？と聞くことができました。」という振り返りの言葉がありました。達成感を味わうことのできた運動会となりました。

5年生

はじめての飛翔。休み時間にも進んで練習に取り組みました。6年生からアドバイスを受けたことに気をつけ、「心を一つに」を意識して練習をしました。

本番では、堂々と指先まで意識して演じる姿が見られました。旭区伝統の飛翔を、5年生が演技をすることができる学校は数少ないです。真剣な眼差しで演技するカッコいい姿を見ることができ、とても頼もしく感じました。また、飛翔だけでなく、綱引きや徒競走も協力し、力一杯、競技することができました。次はいよいよ最高学年として迎える運動会です。今年の頑張りを来年へとつなげてほしいです。

6年生

6年生にとって最後の運動会、最後の飛翔でした。高学年のみんなの思いが込められた「心を一つに動きを揃え、観ている人が格好よいと思える飛翔にしよう」というスローガンをもとに取り組みました。また、6年生という立場で、5年生をはじめ全校みんなの手本になれるように練習を重ねてきました。本番では、自分たちがもつ100%の力を出し切って演技し、運動会の最後を締め括ることができました。

飛翔の本番では、練習の時とはまた違った緊張感がありました。でも、その緊張感があったからこそ、集中して取り組みました。また、どんな時でも諦めずに全力で取り組むことの大切さを学びました。

演技以外の場面でも、自分の力を精一杯出すことができました。運動会の係活動では時間を意識したり、よりよい運動会になるように考えて動きを工夫したりしました。身についた力を、今後の学校生活に生かしていきたいです。